

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の修理について

古墳壁画保存対策プロジェクトチーム

修理班

○高松塚古墳壁画について

昨年度に引き続き、黒色のカビ及びバイオフィルムのクリーニング作業を行った。今年度の作業箇所は以下の通りである。

<次亜塩素酸を用いた無地場クリーニング>

玄武



作業箇所（玄武）



作業前（玄武）



作業後（玄武）

<酵素を用いたクリーニング>

西男子（絵画面）・天1・天3・天4・青龍



作業箇所（西男子）



作業前（西男子）



作業後（西男子）

<UV を用いたクリーニング>（オムロン・コンジット使用）

西男子・東男子・天2



作業箇所（天2）



作業前（天2）



作業後（天2）

また、天1・天2・天3・東女子・白虎・西女子・玄武についてはパラロイド B72 とジクロロエタンを用いた漆喰強化作業も行った。

その他、作業経過記録のための全壁画の写真撮影を毎月1回行った

○キトラ古墳壁画について

昨年度に引き続き強化処置を終えた漆喰片の保存治具上での組み立てを行い、組み立ての完了した漆喰片から順次クリーニングを行った。組み立て作業の工程としては、おおよそ①位置確認、②厚み等の調整、③貼り付け、④補填、⑤表打ち除去、⑥漆喰欠失部分のロハセル調整、の手順で行っている。各壁の進捗状況は以下の通りである。天井、東壁、西壁、北壁については、継続して行っている組み立てを終えた漆喰片のクリーニングを行っている。

<天井>

- ・昨年度中に⑥漆喰欠失部分のロハセル調整までを完了しており、今年度はUV、次亜塩素酸ナトリウムを使用してクリーニングを行った。



天井 (UV クリーニング前)



天井 (UV クリーニング後)

<南壁>

- ・強化処置を終えた朱雀以外の漆喰片を保存治具治具上で組み立て、⑥漆喰欠失部分のロハセル調整まで完了した。
- ・朱雀については顕微鏡を使用し、酵素を用いて表面のクリーニングを行っている。



朱雀 (クリーニング前)



朱雀 (クリーニング後)

<北壁>

- ・昨年度から引き続き組み立て作業を行い、⑥漆喰欠失部分のロハセル調整まで完了した。
- ・顕微鏡を使用し、酵素を用いて表面のクリーニングを行っている。



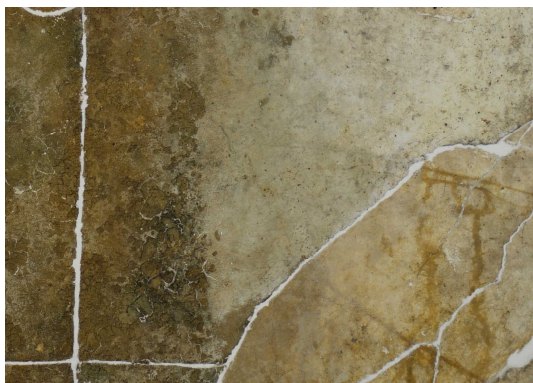
北壁 (クリーニング前)



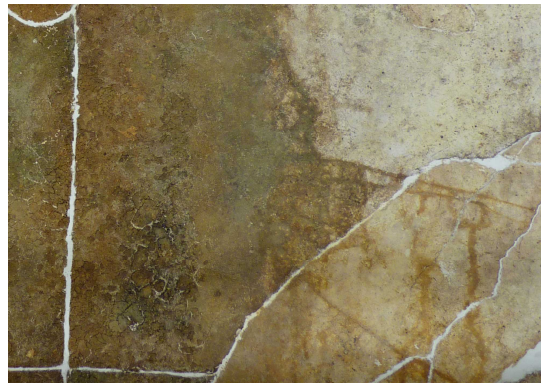
北壁 (クリーニング後)

<東壁>

- ・昨年度中に⑥漆喰欠失部分のロハセル調整までを完了しており、今年度は顕微鏡を使用し、酵素を用いて表面のクリーニングを行っている。



東壁 (クリーニング前)



東壁 (クリーニング後)

<西壁>

- ・昨年度から引き続き組み立て作業を行い、⑥漆喰欠失部分のロハセル調整まで完了した。
- ・顕微鏡を使用し、酵素を用いて表面のクリーニングを行っている。



西壁（クリーニング前）



西壁（クリーニング後）